

News Release

2024年7月18日

各位

株式会社リボミック
(コード番号:4591 東証グロース)

The Retina Society 国際会議での登壇発表のお知らせ

このたび、2024年9月にリスボン(ポルトガル)で開催予定の The Retina Society^{註1}国際会議で、当社の umedaptanib pegol(RBM-007)の臨床 POC^{註2}に関する論文が口頭発表に採択され、代表取締役社長 中村 義一が登壇いたしますのでお知らせいたします。

会期：2024年9月11-15日

会場：Four Seasons Hotel Ritz Lisbon

題名：Clinical proof of concept for anti-FGF2 therapy in exudative age-related macular degeneration (nAMD): phase 2 trials in treatment-naïve and anti-VEGF pretreated patients(滲出型加齢黄斑変性治療における抗 FGF2 アプタマーの臨床有効性の証明:未治療患者ならびに標準治療患者での第2相臨床試験の結果)

URL：<https://www.retinasociety.org>

^{註1} 1968年に米国(ボストン)で設立された網膜疾患の治療、教育、研究に関する臨床医中心の学会で、その年次総会は網膜疾患に関して世界で最も権威ある研究集会の一つとなっております。その登壇発表の機会を得ることは容易ではありませんが、当社の臨床試験の成果が評価されたものと考えております。

^{註2} 研究段階で構想した薬効がヒトでも有効性を持つことの確認を POC(Proof of Concept)と言い、概念実証とも訳します。米国で実施した umedaptanib pegol の第2相臨床試験結果の速報では、umedaptanib pegol の効果が比較薬 aflibercept を超えるものではなかったものの、その後、サブグループ解析を含めた詳細解析によって、umedaptanib pegol の効果は aflibercept に対してほぼ同等(非劣性)であり、臨床 POC が確立しました(Eye 2024;38:1140-1148)。

以上

【本件に関するお問い合わせ先:財務経理部 <https://www.ribomic.com/contact.php>】